

スミフェロン注DSを使用されている方へ

自己注射の手引き

監修

原三信病院 名誉院長

内藤 誠二



病院名：

医師名：

電話： ()

緊急連絡先： ()

保険証
記号番号

氏 名

生年月日

年

月

日

性別

男 ・ 女

住 所

〒

電話

緊急連絡先 (自宅以外)

氏 名

住 所

〒

電話

●この手帳を拾った方はお手数ながら上記にご一報ください。

自己注射をされる患者さん 並びに家族の方々へ。

これから治療のため、このお薬を長期間にわたって投与し続ける必要があります。しかし、毎日通院することは大変ですし、患者さんの症状は比較的安定していますので、ご自分で自宅で投与（自己注射）されることも可能です。自己注射は、主治医の指導が必要ですので、注射の方法や投与回数については必ず主治医の指示に従ってください。注射の仕方は、あらかじめ主治医から説明がありますが、このパンフレットには、その時の注意が記載されていますので、良く読んで、正しく注射をしてください。

なお、ご自分で治療することになりますが、何か体の調子が普段と違うことに気がいたら、すぐに主治医に相談してください。また、適切な治療のために主治医の指示に従って定期的に診察を受けてください。



自己注射をする時には 下記のようなことに注意してください。

1. 使用前後の注射器の取り扱い等について

自己注射をする際には、針刺し事故にご注意ください。ほかの人の血液が入ることなどによって感染したり、感染させたりする危険性があります。

使用後の注射器の取り扱いについては下記に従って十分注意してください。

- 使用後は分解・分別は絶対に行わず、すみやかに廃棄してください。
- 投与後の注射器は、感染性廃棄物となります。一般の廃棄物とは絶対に一緒にしないでください。
- 廃棄方法に関しましては、主治医の指示に従ってください。



2. 注射の方法と回数

自分で適当に量や回数などを変更してはいけません。量や回数を多くすると副作用が増すおそれがあり、また、量や回数が少ないと効果が期待できないことがあります。注射の方法と投与回数は必ず主治医の指示に従ってください。もし注射をし忘れた場合は主治医に相談してください。

3. 薬の保存方法

- 1) 冷蔵庫内に、食物などとは区別して清潔に保存してください。しかし、凍らせてはいけません（冷凍庫の中には入れないでください）。
- 2) ラベルに表示してある使用期限を過ぎた注射液は使用しないでください。
- 3) 1回使用した残りの注射液は使用しないでください。



自己注射をする時には 下記のようなことに注意してください。

4. 注射をする時の注意

- 1) 注射の時刻、注射の仕方等の方法については、主治医の指導をよく受け、正しく注射してください。
- 2) 注射する前に手指を石けん等でよく洗い、清潔なタオル等で水気を拭いてください。



- 3) 他の注射剤と一緒に注射しないでください。
- 4) 注射針は同梱されているものを使用してください。
- 5) 使用後の注射器、注射針は勝手に処分せず、主治医あるいは薬局の指示に従ってください。
- 6) 注射する時に激しく痛んだり、血液が逆流する場合はすぐに注射針を抜いて、場所を変えて注射してください。

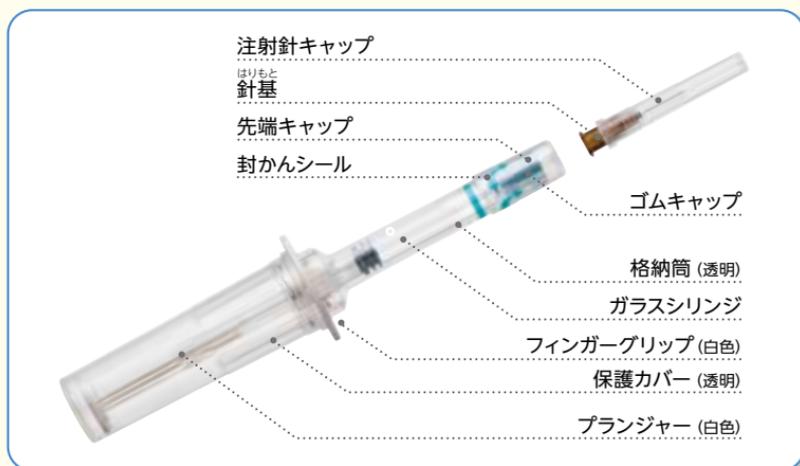
- 7) 注射した場所が痛くなったり、赤くなったり、硬くなることがあります（放置すると皮膚潰瘍ひふかいようができることもあります）。そのような場合はすぐに主治医に連絡して指示を受けてください。
- 8) いつも同じ場所に注射せず、主治医の指示どおり注射する場所は毎回変更してください。注射する場所は、上腕じょうわん、大腿だいたい、臀部でんぶなど広い範囲に、順序よく移動し、同じ場所に短期間に繰り返して注射をしないでください。



- 9) 不潔な注射により、注射した場所に感染を起こし、痛みと熱が出ることがあります。そのような場合はすぐに主治医に連絡して指示を受けてください。

スミフェロン注DSの取り扱い方法

形状



使用方法

注射の方法と投与回数は必ず主治医の指示に従ってください。
使用は1本につき1回限りとし、開封後は速やかにご使用ください。

保存方法

冷蔵庫内に食物などと区別して清潔に保存してください。
また、遮光し、凍結を避け、10℃以下で保存してください。
冷蔵庫内の保管場所によっては凍結することもありますので、冷風吹き出し口付近など比較的低温となる場所には置かないでください。
薬剤を冷えたまま注射すると、痛みが増すことがありますので、投与する少し前より冷蔵庫から出しておいてください。

注射の準備



1. 手指を石けん等で洗い、清潔なタオル等で水気を拭き取ってください。
2. フィンガーグリップ（白色の部分）をしっかり握って固定し、先端キャップ（封かんシール付）を回してねじりながら引き抜きます。

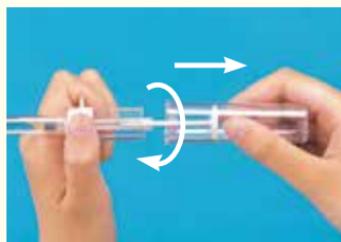


3. フィンガーグリップをしっかり握って固定してください。ゴムキャップ側を上にして、ゴムキャップをゆっくり前後左右にずらすようにして外します。外した後は、ガラスシリンジの先端には、さわらないでください。

- ゴムキャップは衛生管理上固めに取り付けられています。ゴムキャップを取り外す際に保護カバー（透明の部分）を握ると、カバーが外れることがあります。



4. 添付されている注射針をしっかり取り付けます。



5. フィンガーグリップ (白色の部分) をしっかり持って、保護カバー (透明の部分) を回しながら取り外します。



6. 注射器の先を上に向け横から軽く指ではじき、空気を上に集めます。次いで、プランジャー (白色) をゆっくり押し上げ、注射器内の空気を抜いてください。この時、針先から薬液が出る事を確認してください。

- 気泡が外へ出にくい場合は、これを繰り返してください。多少の気泡が残っていても問題ありません。

注射直前の注意

フィンガーグリップとプランジャーに指をかけて投与します。注射の方法と投与回数は必ず主治医の指示に従ってください。

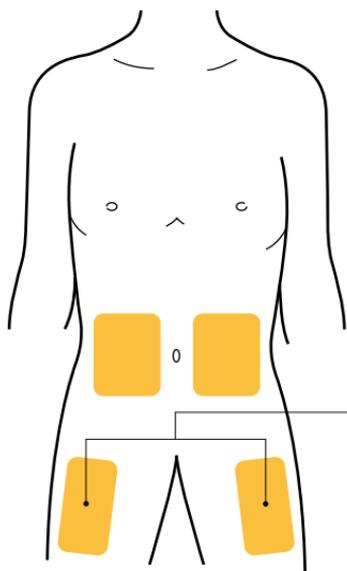
**注意：格納筒部分 (透明の部分) に指をかけると、スムーズな格納操作ができません。
必ずフィンガーグリップに指をかけて投与してください。**

注射の部位の選び方

皮下注射

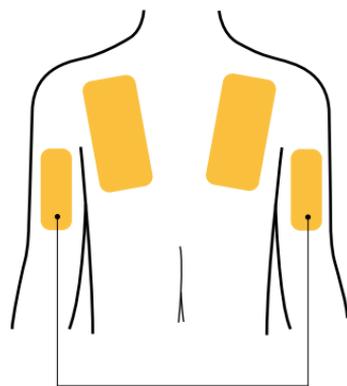
神経、血管が少なく、皮膚表面の近いところで骨がない場所。
一般に上腕伸側、大腿前面がよく用いられます。

ふくぶ だいたいじょうぶ
腹部・大腿上部



だいたいぜんめん
大腿前面

じょうわんぶ じょうはいぶ
上腕部・上背部 (せなか)



じょうわんしんそく
上腕伸側

注射部位

注射の仕方

皮下注射



1. 注射する場所を消毒用アルコール綿で広く拭きます。



2. 注射器を水平に持ち注射針キャップをひねらずまっすぐ外します。

- 注射針キャップをひねると針ごと外れることがあります。また、キャップを外すときの反動による針刺し事故に注意してください。

3. 注射部位のまわりの皮膚を親指と人差し指でつまみます。

注射器を、この部位に皮膚面と約30～45°の角度で素早く針をさします。



4. プランジャーを少し引き、血液が逆流しないことを確認し、ゆっくり注射液を注入します。

5. 注射し終わったら針を引き抜き、注射した場所を消毒用アルコール綿で軽くおさえます。

投与直後（針の格納）



1. 投与終了後、注射針を投与部位から外します。そのまま針先を人のいる方向に向けないように注意して、さらにプランジャーを強く押してください。フィンガーグリップが後退して注射針が格納筒に引き込まれます。



2. 注射針が格納筒に完全に引き込まれ、カチッと音がするまでプランジャーを強く押してください。



カチッと音がすると注射針が固定されて格納操作は終了します。注射針が格納筒に完全に引き込まれていることを目で確認し、その後注射針の周りに指を触れないように注意して速やかに廃棄してください。



使用後の注意

- 使用後は分解・分別は絶対に行わず、速やかに廃棄してください。
- 投与後の注射器は、感染性廃棄物となります。一般の廃棄物とは絶対に一緒にしないでください。
- 廃棄方法に関しましては、主治医の指示に従ってください。

治療中に下記のような症状がみられた場合は
すぐに主治医に連絡して指示を受けてください。



1) 発熱

注射後4～8時間で発熱がみられることがあります。また、^{さむけ}寒気、筋肉の痛み、頭痛やはき気を伴うことがあります。これらの症状に対する処置は、主治医の指示に従ってください。

その他、高熱が続いたり、食事がとれない場合には、勝手に解熱剤を服用せず、主治医に連絡して指示を受けてください。

2) アレルギー症状

^{ほっしん}発疹、かゆみや^{じんましん}蕁麻疹があらわれることがあります。このような場合はすぐに主治医に連絡して指示を受けてください。

3) 倦怠感

体がだるくなったり、力のぬけた感じが起こることがあります。これらの症状が続いたり、強くなる場合には主治医に連絡して指示を受けてください。

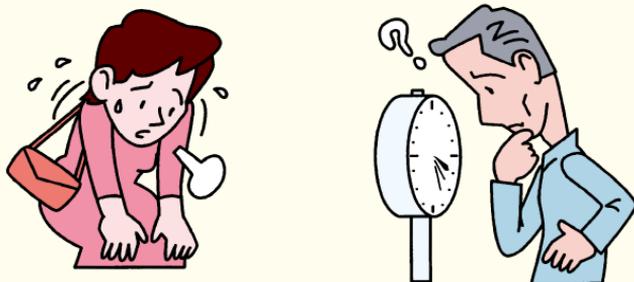


4) 精神症状 (うつ状態など)

眠れなくなったり、不安感やいらいら感を抱いたり、気分が落ち込んだり、ぼんやりしたり、物事に集中できなくなったり、いつもと違ったふるまいがみられることがあります。このような場合はすぐに主治医に連絡して指示を受けてください。

なお、このような症状が起こっていることを本人が気づかなかったり、わからなかったりすることがありますので、家族やまわりの方もいっしょに注意してください。

治療中に下記のような症状がみられた場合は
すぐに主治医に連絡して指示を受けてください。



5) 呼吸器症状

歩いたり運動した時に息切れが起きたり、痰たんを伴わない咳せきが出たりする場合は、すぐに主治医に連絡して指示を受けてください。

6) 糖尿病

のどが渇いたり、尿の量が多くなったり、急に体重が減ったりした場合は、すぐに主治医に連絡して指示を受けてください。

7) 甲状腺機能異常

のどがはれたり、脈こぶしが速くなったり、汗が多くなったり、ドキドキすることがあります。(甲状腺機能亢進こうしん)。また、皮膚が乾燥したり、動作がゆっくりするようになったりします。(甲状腺機能低下)。このような場合はすぐに主治医に連絡して指示を受けてください。

8) 眼の症状

小さな虫が飛んでいるように見えたり、眼が見えにくい、視野の一部に見えないところがあったり、ぼうっとするといった症状が現れたり、眼の奥に痛みを感じたりすることがあります。このような場合はすぐに主治医に連絡して指示を受けてください。

9) 出血傾向

歯ぐきから出血したり、鼻血が出たり、尿に血がまじったりすることがあります。このような場合は、すぐに主治医に連絡して指示を受けてください。



10) 脱毛

髪の毛が抜けてくることがあります。このような場合は主治医に相談してください。

11) 皮膚潰瘍、皮膚壊死

皮膚潰瘍（皮膚がえぐれて傷ついた状態）、皮膚壊死（皮膚組織が死んでしまい黒くなった状態）があらわれることがあります。このような場合は、すぐに主治医に連絡して指示を受けてください。短期間に同じ所に連続して注射するとこのような症状があらわれることがありますので十分ご注意ください。

12) その他の症状

みみなり 耳鳴がしたり、聞こえにくくなったりする聴覚異常や、ちようかく いじょう 胸痛がしたり、動悸がしたりすることがあります。このような場合はすぐに主治医に連絡して指示を受けてください。

また、めまいがしたり、ぼんやりしたりすることがありますので、高所での作業や自動車の運転など危険を伴う作業に従事する場合には注意してください。その他、いつもと違った症状がみられた時は、その都度、主治医に連絡して指示を受けてください。

13) 他の薬を服用する場合

何か病気で他の薬【しょうさい ことう小柴胡湯*（漢方薬）など】をいっしょに服用すると、薬の効果を弱めたり、副作用を強めたりすることがあります。他の薬をいっしょに服用する場合には主治医に連絡して指示を受けてください。*小柴胡湯とはいっしょに服用しないでください。

注射の記録

正しく治療するために注射の記録をつけてください。

1) 誰が注射するか

(イ) 自宅で家族または本人が注射する

(ロ) 近くの医師に注射してもらう

(ロ) の場合

医師または
医院の名前：

住 所：〒

電話番号： ()

2) 注射回数

週に () 回

●注射のスケジュール 記入方法

医師から指示された
スケジュールを記入して
ください。

実際に注射したかどうか
を記入してください。

この一週間の治療中に
体調の変化など気付
いた点があったら記
入してください。

	第1週 (7/6)	第2週 (7/7)
月	9/6 ○	---
火	9/7 ○	---
水	林 林	---
木	9/9 ○	---
金	9/10 ○	---
土	林 林	---
日	9/12 ○	---
メモ	金曜日 発熱 火曜日 発熱	---

3) 注射のスケジュール (52週間分)

	第1週 (/)	第2週 (/)	第3週 (/)	第4週 (/)	第5週 (/)	第6週 (/)
月						
火						
水						
木						
金						
土						
日						
メモ						

	第7週 (/)	第8週 (/)	第9週 (/)	第10週 (/)	第11週 (/)	第12週 (/)
月						
火						
水						
木						
金						
土						
日						
メモ						

	第13週 (/)	第14週 (/)	第15週 (/)	第16週 (/)	第17週 (/)	第18週 (/)
月						
火						
水						
木						
金						
土						
日						
メモ						

	第19週 (/)	第20週 (/)	第21週 (/)	第22週 (/)	第23週 (/)	第24週 (/)
月						
火						
水						
木						
金						
土						
日						
メモ						

	第25週 (/)	第26週 (/)	第27週 (/)	第28週 (/)	第29週 (/)	第30週 (/)
月						
火						
水						
木						
金						
土						
日						
メモ						

	第31週 (/)	第32週 (/)	第33週 (/)	第34週 (/)	第35週 (/)	第36週 (/)
月						
火						
水						
木						
金						
土						
日						
メモ						

	第37週 (/)	第38週 (/)	第39週 (/)	第40週 (/)	第41週 (/)	第42週 (/)
月						
火						
水						
木						
金						
土						
日						
メモ						

	第43週 (/)	第44週 (/)	第45週 (/)	第46週 (/)	第47週 (/)	第48週 (/)
月						
火						
水						
木						
金						
土						
日						
メモ						

	第49週 (/)	第50週 (/)	第51週 (/)	第52週 (/)
月				
火				
水				
木				
金				
土				
日				
メモ				

住友ファーマ株式会社